

条件付き一般競争入札（事後審査方式）の公告

公 告 日	令和3年4月7日	
工事番号	下第14号	
工 種	土木	
工 事 名	小矢部市特定環境保全公共下水道 芹川地区管布設その1工事	
施工場所	小矢部市 芹川 地内	
工事完成期限	令和3年 8月 6日	
工事概要	延長 149.35m 管布設延長（開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ150）146.35m 1号マンホール 3箇所、小口径マンホール 1箇所 公共桝及び取付管 8箇所、付帯工 一式	
予定価格	15,680,000 円(消費税及び地方消費税相当額を除く)	
低入札調査基準価格	設定有り 当該基準価格を下回る入札が行われた場合は、落札者の決定を保留し、後日、入札参加者に結果を通知する。	
入札参加資格	本店、支店又は営業者の所在地	・小矢部市内に主たる営業所を有する者 ・準市内業者に認定された者
	等級又は総合評価値	・令和3・4年度小矢部市建設工事入札参加資格者名簿の土木工事において、A等級又はB等級に登録されている者
	その他	・小矢部市条件付き一般競争入札実施要領第3条
入札方法	期間入札	
入札書の提出方法	持参又は郵送	
入札書の提出期間	令和3年4月12日 から 令和3年4月19日 まで 持参の場合の受付時間は市役所開庁日の8時30分～17時15分 郵送の場合は、期日内に指定郵便局必着	
入札書の提出先	総務部財政課	
開札日時	令和3年4月21日 9時51分	
開札場所	小矢部市役所 講堂（4階）	
入札保証金	免除	
契約保証金	納付必要（請負代金額が500万円以上の場合）	
積算内訳書	要（入札時に、入札書と同封して提出）	
入札の無効	小矢部市期間入札実施要領第7条による	
設計図書の配布	小矢部市ホームページ「事業者向け」―「入札案内・資格申請」に掲載する設計図書を、ダウンロードにより取得する。	
設計図書に対する質問期間	令和3年4月14日	
質問に対する回答期限	令和3年4月16日	

工種	下水道工事(2)	工事番号	下第14号	設計年月日	令和3年4月
工事箇所	小矢部市 芹川 地内				
令和3年度 小矢部市特定環境保全公共下水道 芹川地区管布設その1工事 小矢部市 建設リサイクル法対象工事					
請負金額		工期	令和3年4月22日 令和3年8月6日		

< 理 由 >

本工事は、汚水管の整備を図り、民生の安定と生活基盤の強化に寄与するものである。

< 概 要 >

○延 長	1 4 9 . 3 5 m
○管布設延長	1 4 6 . 3 5 m
開削工法 リブ付硬質塩ビ管 φ 150	1 4 6 . 3 5 m
○1 号マンホール	3 箇所
○小口径マンホール	1 箇所
○公共枳及び取付管	8 箇所
○附 帯 工	1 式

特記仕様書

工事名：小矢部市特定環境保全公共下水道 芹川地区管布設その1 工事

(一般関係)

第1条 一般

この特記仕様書は、「土木工事共通仕様書(富山県土木部)令和2年10月」第1編共通編1-1-1-2の第6項に基づき、当該工事に必要な事項について定めるものとする。

第2条 現場代理人の工事現場における常駐を要しない期間

- 1 次のいずれかに該当し、かつ、発注者との連絡体制が確保されると認めた場合には、工事現場における常駐を要しない期間として取り扱うものとする。
 - ① 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間
 - ② 工事の全部の施工を一時中止している期間
 - ③ 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工事製作のみが行われる期間
 - ④ 上記に掲げる期間のほか、工事現場において作業等が行われていない期間
- 2 前項の期間を確認する必要がある場合は、書面によることとする。

第3条 工事材料の品質証明資料の提出、段階確認

品質を証明する資料を事前提出し、監督員の段階確認を受けて使用する材料は下記のとおりとする。なお、JISマーク表示品、富山県コンクリート製品協会認定マーク表示品については、マーク表示状態の写真撮影にすることとし、品質証明資料の提出及び段階確認は省略してもよい。

対象材料 リブ付き硬質塩化ビニール管
各種継手類
組立マンホール各種部材
マンホール蓋

第5条 アスファルト混合物

- 1 受注者は、本工事のアスファルト混合物は再生材入りアスファルト混合物を使用するものとする。
- 2 受注者は、上記により難しいときは監督員と協議して再生材の混入しないアスファルト混合物（バージン材）を使用してもよい。

第6条 コンクリート配合

使用目的別の配合緒元は次表のとおりとする。

番号	呼び強度 (N/mm ²)	スランプ (cm)	粗骨材の 最大寸法(mm)	W/C (%)	C (kg/mm ³)	セメントの種類	使用目的
1	18	8	40	60以下		B・B	土間コンクリート

第7条 コンクリートの水セメント比

コンクリートの水セメント比は第6条コンクリート配合を遵守すること。指定した呼び強度に対して、セメント比が確保できない場合は、上位規格を用いるものとする。

第8条 リサイクル認定品の利用

本工事で使用する下記の品目については、公共工事における富山県認定リサイクル製品利用方針において先行利用グループに区分されている製品を利用する。

工 種	品 目（名称）	規 格	製品名
組立マンホール	下水道用組立マンホール	内径900	エコ ユニホール スレンダ ハイブリッドホール プレホール K-TIKホール

ただし、先行利用グループに区分されている製品の入手が困難な場合は、監督員との協議により、通常製品（新材で製造された製品）やその他グループに設定されているリサイクル製品へ変更できるものとする。

第9条 低入札となった場合における技術者の増員等

- 1 入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した業者が受注者となった場合における技術者の配置については、次に掲げる場合の区分に応じ、それぞれ次に定めるものとする。

（1）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられる工事の場合

専任配置が義務付けられている技術者とは別に、同法の規定により監理技術者の配置が義務付けられる工事にあつては監理技術者の資格を有する者を、それ以外の工事にあつては主任技術者になり得る資格を有する者を1人、専任にて配置するものとする。この場合において、これらの工事に配置する技術者は、受注者と3ヶ月以上の雇用関係がある者に限る。

（2）建設業法の規定により技術者の専任配置が義務付けられていない工事の場合

同法の規定により配置が義務付けられている技術者を専任にて配置するものとする。

- 2 1の（1）により別に配置される技術者は、監理技術者を補助し、監理技術者と同様の職務を行うものとする。

第10条 施工体制の点検を強化する工事

入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合は、受注者は工事施工前に、段階確認及び中間検査において発注者が強化するとする事項を監督員に確認しなければならない。

第11条 低入札となった場合における品質管理の試験頻度

入札の結果、調査基準価格に満たない価格をもって入札した者が受注者となった場合は、富山県土木工事施工管理基準における品質管理基準（一般土木工事品質管理基準）の試験基準欄及び指摘事項欄並びに本特記仕様書の品質管理に関する条項に定める施工に関する試験頻度を2倍とする。

第12条 路盤工（人力施工）

受注者は、路盤の敷均しにあたり、材料の分離に注意し、一層の仕上り厚が15cmを越えないように締固めなければならない。

（工程関係）

第13条 工程関係

- 1 本工事において、地元住民の交通事情、農繁期における農耕車両の影響など必要に応じて、地元などと工事期間や施工方法について調整を行い、その結果を反映させた施工方法、工程等とすること。

- 2 工事着手前に地下埋設物等の支障物件について調査し監督員に報告すること。なお、工事に支障がある場合は施工方法、工程等について別途発注者と受注者で協議する。
- 3 工事施工に際しては、予想される地下埋設物の管理者等と現地立会のうえ、当該物件の位置、深さを確認し、保安対策について十分打合せをし、事故の発生を防止すること。

(公害対策関係)

第 14 条 公害対策

工事施工に伴い既設構造物に影響を及ぼす恐れがある場合は監督員と協議し、関係者立会のうえ、事前調査を行い、着工前の状況を写真等で記録すること。

第 16 条 工事現場における表示施設（工事看板）

平成 24 年 6 月 6 日付けの「工事現場における標示施設等の設置基準(案)」の運用について（上下水道課長通知）に基づくこと。

第 17 条 道路使用許可申請、通行制限許可申請

- 1 道路交通法第 77 条に基づく道路使用許可申請および道路法第 46 条に基づく小矢部市管理道路の通行制限許可申請については受注者が申請すること。

(工事用道路関係)

第 18 条 工事用道路関係

運搬路に使用した、既設道路の舗装等の補修が必要となった場合は監督員と協議し、補修しなければならない。

(仮設備関係)

第 19 条 管路土留工

本工事では掘削深 1.5m 以上となる区間において、任意仮設として土留工を設置することとしている。したがって、計上している工法と異なった施工をしても、引取対象物が変わらなければ設計変更の対象とはしないが、掘削深が変更になる等、施工条件が変更になった場合は監督員と協議のうえ変更できるものとする。

工法：たて込み簡易土留工法

使用土留：H=2.0～2.5m

第 21 条 地下水位低下工（地下水位低下工を施工する場合）

本工事の管路工においては、任意仮設としてウエルポイントによる地下水位低下工を予定しており、下記の条件を想定している。本条件により難しいときは監督員と協議のうえ変更できるものとする。

必要揚水量 1662 L

ウエルポイントの間隔 1.8～1.9m

(建設発生土・建設副産物関係)

第 22 条 建設発生土

建設発生土については、一部埋戻しに流用するものとし、その他は片道運搬距離 6.0km の小矢部市安楽寺地内の公共残土仮置場へ搬出するものとする。なお、受注者の明示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。ただし、施設の受入れが困難な場合等、

受注者の責によるものでない事項についてはこの限りではない。

第 23 条 建設副産物

- 1 本工事は建設工事に係る資源の再資源化等に関する法律（以下、建設リサイクル法という）の対象建設工事であり、特定建設資材について分別解体等及び再資源化等を実施するものとする。
- 2 受注者は、建設リサイクル法 12 条に基づき、施工計画書に以下の内容を明記し、監督員へ説明するものとする。
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等の構造
 - ・新築工事等である場合は、使用する特定資材の種類
 - ・工事着手時期及び工程の概要
 - ・分別解体の概要
 - ・解体工事である場合は、解体する建築物等に建設資材の量の見込み
- 3 本工事における特定資材の再資源化等については、以下の積算条件を設定しているが、工事請負契約書に定める事項は契約締結時に発注者と請負者の間で確認されるものであるため、発注者が積算上条件明示した以下の事項と別の方法であった場合でも変更の対象としない。

ただし、工事発注後に明らかになった事情により、予定した条件により難しい場合は、監督員と協議するものとする。

1) 分別解体等の方法

工程ごとの作業内容及び解体方法	工程	作業内容	分別解体の方法 (解体工事のみ)
	① 仮設	仮設工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	② 土工	土工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	③ 基礎	基礎工事 □有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④ 本体構造	本体構造の工事 □有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑤ 本体付属品	本体付属品の工事 □有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	⑥ その他	その他の工事 ■有 □無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用

2) 再資源化等をする特定建設資材廃棄物の種類及び処理量

特定建設資材廃棄物の種類	処理量
コンクリート塊	3m3
アスファルト塊	9m3
建設発生木材	0t

コンクリート塊は、径 30cm 程度に破砕するものとする。

- 4 受注者は、特定建設資材の分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リサイクル法 18 条に基づき、以下の事項を書面にて記載し、監督員に報告する。なお、書面は「建設リサイクルガイドライン（富山県土木部）」（平成 14 年 6 月）に定めた様式 1、〔再生資源利用計画書（実施書）〕及び様式 2〔再生資源利用促進計画書（実施書）〕を兼ねるものとする。
 - ・再資源化が完了した年月日
 - ・再資源化をした施設の名称及び所在地

・再資源化に要した費用

- 5 受注者は、再資源化施設において適正に処分されていることが確認できる書類（マニフェスト等）を保管しておくこと。監督員からの請求があれば速やかにその写しを提示するものとする。運搬、処理を委託する場合は、産業廃棄物処理業者との委託契約書を監督員に提示するものとする。

第 24 条 再生材の利用

下表の基礎砕石には再生砕石を使用するものとする。品質については、下表の資材は、「コンクリート副産物の再生利用に関する用途品質基準」に基づくものとする。なお、再生砕石の入手が困難な場合は、監督員と協議のうえ砕石（新材）に変更できるものとする。

工 種	品 種	使用箇所
管布設工	RC-40	管路基礎
舗装工	RC-40	下層路盤

第 26 条 舗装切断作業時に発生する排水の処理

舗装切断作業に伴い、切断機械から発生する排水については、排水吸引機能を有する切断機械等により回収し、適正に処理すること。当該排水の処理に関し、排水量に変更が生じた場合、受注者は排水量等を取りまとめの上、監督員と協議を行い契約変更の対象とする。

（その他）

第 29 条 工事写真の撮影

受注者は土木工事共通仕様書（富山県土木部）記載の富山県土木工事写真撮影要領および下水道土木工事必携（案）（日本下水道協会）により工事の施工状況が判明する写真を撮影すること。

第 30 条 公共ます及び取付管設置

公共ます及び取付管の設置位置については、地権者と協議を行い施工すること。また、設置後は公共枳設置確認書の必要事項を記入し、地権者が署名のうえ、完成図書として提出すること。

第 32 条 その他

その他、定めがない事項について疑義が生じた場合は、その都度監督員と協議するものとする。

総括情報表

事務所 設計書名 変更回数	0002 上下水道課 実施設計書 当初 0		
適用単価 適用単価地区 単価適用年月日	1 実施単価 07 砺波地区 0-03. 03. 01 (0)		
諸経費体系	1 公共		
	当 世 代	前 世 代	
前払率 諸経費工種 労務費補正 電力区分 施工地域区分 寒冷地区分 緊急工事区分 契約保証区分 現場環境改善費 週休2日工事補正 消費税率 (%)	40 18 下水道 (2) 01 割増なし 02 臨時低圧電力 12 補正無し 01 補正なし 00 通常 01 金銭的保証 00 計上しない 00 計上しない 10		

本工事費内訳表

頁0-0002

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
本工事費										X1000	
管路										Y1A01	
管きょ工(開削)〈管径150mm〉										Y2A0101	
管路土工										Y3A010101	
管路掘削										Y4A01010101	
	バックホウ床掘 土砂 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満									SP2010 0 A=1, B=2, C=1, D=1	
		136	m3								
	機械掘削 (バックホウ) バックホウ クレーン1次排対									S6801 0 A=4, B=1	
		119	m3								
管路埋戻										Y4A01010102	
	機械投入埋戻工 (流用土路体) 流用土									S6807 0 A=4, B=4	
		70	m3								

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0003

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
機械投入埋戻工（砕石路床） 再生砕石 R C - 40									S6807 0 A=4, B=2, C=1.2	
	37		m3						施工 第0-0005号表	
発生土処理									Y4A01010103	
				式						
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)									SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=7	
	173		m3						施工 第0-0006号表	
処分費等									#0044 A=1, B=1, C=4	
公共用残土仮置場（搬入）安楽寺									TST01 0	
	173		m3							
管布設工									Y3A010102	
リブ付硬質塩化ビニル管									Y4A01010216	
				式						
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 市場単価方式 呼び径 150mm									S6992 0 A=1, B=1, C=1, D=1	
	146		m						施工 第0-0007号表	
継手類									Y4A01010211	
				式						

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0004

費目・工種・施工名称など		数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
管基礎工	リブ管用マンホール用可とう継手 φ150 PRP φ150 拡張バンドタイプ									T94140	0
		6		個							
管基礎工										Y3A010103	
碎石基礎										Y4A01010302	
碎石基礎工 市場単価方式 機械施工										S6994	0
										A=2, B=1, C=1, D=1	
再生碎石 RC-40		47		m3						施工 第0-0008号表	
										T4090	0
管路土留工		56		m3							
										Y3A010105	
たて込み簡易土留 (H=2.0m)										Y4A01010502	
たて込み簡易土留 建込工 H=2.0m										S6821	0
										A=2.0	
たて込み簡易土留 引抜工 H=2.0m		117		m						施工 第0-0009号表	
										S6822	0
										A=2.0, B=0	
		117		m						施工 第0-0010号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0005

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
たて込み簡易土留賃料 H=2.0m									W0001	
	1			式						
たて込み簡易土留 (H=2.5m)									Y4A01010502	
				式						
たて込み簡易土留 建込工 H=2.5m									S6821 0 A=2.5	
	33			m					施工 第0-0011号表	
たて込み簡易土留 引抜工 H=2.5m									S6822 0 A=2.5, B=0	
	33			m					施工 第0-0012号表	
たて込み簡易土留賃料 H=2.5m									W0001	
	1			式						
地下水低下工									Y3A010110	
ウエルポイント									Y4A01011001	
				式						
ウエルポイント工 設置及び撤去									S7950 0 A=1, B=1, C=41, D=75, F=1, G=2, H=2, I=13, J=7, K=1	
	1			式					施工 第0-0013号表	
ウエルポイント工 設置及び撤去									S7950 0 A=1, B=1, C=39, D=74, F=1, G=2, H=2, I=11, J=7, K=1	
	1			式					施工 第0-0021号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0006

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
発動発電機運転 ディーゼルエンジン駆動 排出ガス対策型（第1次基準）						S1720 0 * A=14, B=24, C=1
マンホール工			日			Y2A0105
組立マンホール工						Y3A010502
組立1号マンホール						Y4A01050202
組立マンホール設置工 1号(内径900mm) マンホール深さ3m以下			式			S6985 0 A=2, B=4, C=2, D=1, E=1
マンホール設置工（底部工） 組立式	3		箇所			施工 第0-0024号表
マンホール設置工（底部工） 組立式	1		箇所			S6871 0 A=1. 4, B=2, C=0. 173, D=1, E=0. 713, F=0. 02, G=2, H=1 施工 第0-0025号表
マンホール設置工（底部工） 組立式、インバートのみ	1		箇所			S6871 0 A=0, C=0. 173, D=1, E=0. 713, F=0. 02, G=2, H=1 施工 第0-0029号表
マンホール設置工（底部工） 組立式、インバートなし	1		箇所			S6871 0 A=1. 4, B=2, C=0. 0, E=0. 0 施工 第0-0030号表
1号マンホール現場削孔費 PRP φ 150 PRP φ 150	1		箇所			TG3003 0

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0007

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1号 マンホール底版 H=130 外径1100mm H=130mm									T9351	0
	3		個							
1号 マンホールく体ブロック H=1200 内径 900mm H=1200mm									T9356	0
	2		個							
1号 マンホールく体ブロック H=1500 内径 900mm H=1500mm									T9357	0
	1		個							
1号 マンホール斜壁 H=300 内径600-900mm H=300mm									T9396	0
	2		個							
1号 マンホール斜壁 H=450 内径600-900mm H=450mm									T9399	0
	1		個							
組立式マンホール調整リング 内径600 H=100 内径 600mm H=100mm									T9406	0
	1		個							
組立式マンホール調整リング 内径600 H=150 内径 600mm H=150mm									T9407	0
	2		個							
組立式マンホール調整金具 25mmまで 調整高 25mmまで									T9410	0
	2		組							
組立式マンホール調整金具 45mmまで 調整高 45mmまで									T9411	0
	1		組							

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0008

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
マンホール蓋 車道用T-25 φ 600 車道用T-25						T14190 0
	2		組			
マンホール蓋 歩道用T-14 φ 600 歩道用T-14						T14210 0
	1		組			
1号マンホール削孔費 PRP φ 150 PRP φ 150						TG3000 0
	2		箇所			
小型マンホール工						Y3A010503
小型マンホール (塩化ビニル製)						Y4A01050301
小型マンホール工 (塩化ビニル製) 起点および中間形式 2m以下 本管径150mmおよび200mm						S6986 0 A=1, B=1, C=1, D=2, E=1, F=1, G=1, H=2
	1		箇所			施工 第0-0031号表
小口径マンホール蓋 T-14 φ 300用 保護蓋 T-14 台座含む						T14270 0
	1		組			
リブ本管自在継手 φ 150 φ 150						T94260 0
	1		個			
取付管およびます工						Y2A0107

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0009

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
管路土工						Y3A010701
管路掘削						Y4A01070101
機械掘削（バックホウ） バックホウ			式			S6801 0 A=4, B=1
クレーン1次排対	15	m3				施工 第0-0002号表
管路埋戻						Y4A01010102
機械投入埋戻工（流用土路体） 流用土			式			S6807 0 A=4, B=4
	3	m3				施工 第0-0003号表
機械投入埋戻工（碎石路床） 再生碎石 R C - 40						S6807 0 A=4, B=2, C=1.2
	4	m3				施工 第0-0005号表
発生土処理						Y4A01010103
土砂等運搬 標準 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			式			SP2002 0 A=1, B=3, C=1, D=1, I=7
	11	m3				施工 第0-0006号表
処分費等						#0044 A=1, B=1, C=4

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0010

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
公共用残土仮置場（搬入）安楽寺									TST01	0
	11		m3							
ます設置工									Y3A010702	
ます（塩化ビニル製）									Y4A01070201	
				式						
ます設置工（塩化ビニル製） 市場単価方式 ます径200mm	2		箇所						S6983	0 A=2, B=2, C=1, D=1, E=2
									施工	第0-0032号表
ます設置工（塩化ビニル製） 市場単価方式 ます径200mm	6		箇所						S6983	0 A=2, B=1, C=1, D=1, E=1
									施工	第0-0033号表
防護蓋（市章入）T-8 φ200 T-8 台座込み	6		枚						T94370	0
取付管布設工									Y3A010703	
取付管（硬質塩化ビニル管）									Y4A01070301	
				式						
取付管布設および支管取付工 市場単価方式 管径100mm	7		箇所						S6984	0 A=1, B=1, C=1, D=1, E=1, F=1, G=2
									施工	第0-0034号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0011

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
取付管布設および支管取付工 市場単価方式 管径100mm									S6984 0 A=1, B=2, C=1, D=1, E=3, F=1, G=2	
	1			箇所					施工 第0-0035号表	
リブ管用ゴム可とう支管継手 φ150-100 φ150-100									T94180 0	
	7			個						
ゴム輪受口異径継手PRP φ150-VU φ100 PRP150-VU100									T94283 0	
	1			個						
砂基礎									Y4A01010301	
				式						
砂基礎工 市場単価方式 機械施工									S6993 0 A=2, B=2, C=1, D=1	
	3			m3					施工 第0-0036号表	
砂 (細目・荒目)									T4041 0	
	4			m3						
付帯工									Y2A0109	
舗装撤去工									Y3A010901	
舗装版切断									Y4A01090101	
				式						

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0012

費目・工種・施工名称など	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版									SP4028 0 A=1, B=1, E=1	
	151		m						施工 第0-0037号表	
舗装版切断 コンクリート舗装版 コンクリート舗装版									SP4028 0 A=2, C=1, E=1	
	70		m						施工 第0-0038号表	
舗装版破碎									Y4A01090102	
				式						
舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装 アスファルト舗装版 障害等 無し									SP4027 0 A=1, B=1, C=1, D=4, F=1	
	174		m2						施工 第0-0039号表	
舗装版直接掘削・積込工 コンクリート舗装 コンクリート舗装版 障害等 無し									SP4027 0 A=2, B=1, C=1, D=4, F=1	
	30		m2						施工 第0-0040号表	
殻運搬処理									Y4A01090104	
				式						
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)									SP2081 0 A=2, B=4, C=1, J=4	
	9		m3						施工 第0-0041号表	
殻運搬 舗装版破碎 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)									SP2081 0 A=2, B=4, C=1, J=4	
	3		m3						施工 第0-0041号表	
As舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬									S5099 0 A=1, B=0.05, C=151, E=23, F=1, G=1	
	1			式					施工 第0-0042号表	

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0013

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
Co舗装切断排水運搬費 2tダンプトラック運搬						S5099 0 A=1, B=0. 1, C=70, E=23, F=1, G=1
	1		式			施工 第0-0043号表
処分費等						#0044 A=1, B=1, C=4
アスファルト廃材処理費						TAK39 0
	9		m3			
コンクリート廃材処理費						TCY39 0
	3		m3			
As舗装切断排水						TAC09 0
	1		t			
Co舗装切断排水						TCC09 0
	1		t			
舗装復旧工(旧L交通)						Y3A010903
不陸整正						Y4A01090301
			式			
不陸整正 補足材料 無し						SP4001 0 A=1
	101		m2			施工 第0-0044号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0014

費目・工種・施工名称など	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
下層路盤						Y4A01090302
			式			
路盤工（人力施工） 路盤厚20cm 車道						S4015 0 A=2, B=20, C=5
	73		m2			施工 第0-0045号表
上層路盤						Y4A01090303
			式			
路盤工（人力施工） 路盤厚15cm 車道						S4015 0 A=2, B=15, C=4
	73		m2			施工 第0-0046号表
表層						Y4A01090305
			式			
表層（車道・路肩部） 1層当り平均仕上り厚50mm						SP4007 0 A=3, B=50, C=1, D=2, E=5, G=1
	174		m2			施工 第0-0047号表
舗装復旧工(砂利道)						Y3A010903
砂利舗装工						Y4A01090305
			式			
路盤工 全仕上り厚100mm						SP4003 0 A=100, B=1, C=3
	73		m2			施工 第0-0048号表

小 矢 部

本工事費内訳表

頁0-0015

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
直接工事費							
共通仮設費 (率分)							
共通仮設費計				式			
純工事費							
現場管理費							
現場管理費計				式			
工事原価							
一般管理費等							
工事価格				式			

小 矢 部

本工事費内訳表

費目・工種・施工名称など		数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
消費税等相当額							
				式			
請負対象工事費							
工事価格計							
消費税等相当額計							
				式			
請負対象工事費計							

施 工 内 訳 表

SP2010

施工 第0-0001号表

[名 称] バックホウ床掘			1 m3 当り			
[規格 1] 土砂			[規格 2] 施工方法 平均施工幅1m以上2m未満			
機械構成比： 31.93%			標準単価： 288.25			
労務構成比： 55.08%			市場単価構成比： 0.00%			
材料構成比： 12.99%						
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ		31.93%		バックホウ		MH108
特殊運転手		55.08%		運転手（特殊） 東京単価		R2002
軽油 (パトロール)		12.99%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価				積算単価		EP001
A=1 土砂 C=1 土留方式 無し				B=2 平均施工幅1m以上2m未満 D=1 障害 無し		

S6801

施 工 内 訳 表

施工 第0-0002号表

頁0-0018

[名 称] 機械掘削 (バックホウ)						1	m3	当り
[規格1] バックホウ		クレーン1次排対		[規格2]				
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
土木一般世話役 一般施工			人					R2008
普通作業員			人					R2006 補助的作業(床均し等)
バックホウ運転 (クレーン機能付) 1次基準排対 (機-1)			時間					S1320
諸雑費	1		式					#90
1m3当り			m3					+00
＊ ＊単位当り ＊ ＊	1		m3					
A=4 バックホウ				B=1	岩石補正なし			

小 矢 部

S6807

施 工 内 訳 表

施工 第0-0003号表

頁0-0019

[名 称] 機械投入埋戻工（流用土路体）		[規格1] 流用土		[規格2]		100	m3	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
土木一般世話役 一般施工			人					R2008
普通作業員			人					R2006 バックホウ投入補助＋タンパ締固補助
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 （機－1）			時間					S1320
タンパ締固め	100.00		m3					SP2015 施工 第0-0004号表
諸雑費	1		式					#90
合計	100		m3					
単位当り	1		m3					
A=4 バックホウ				B=4 発生土				

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP2015

施工 第0-0004号表

頁0-0020

[名 称] タンパ締固め			[規格 2]			1	m3	当り
[規格 1]			[規格 2]					
機械構成比： 1.39%			労務構成比： 97.22%			材料構成比： 1.39%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 1,398		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単 価(東京地区)	備 考	
タンパ賃料		1.39%		タンパ及びランマ 東京単価 質量60～80kg			T7285	
特殊作業員		51.95%		特殊作業員 東京単価			R2005	
普通作業員		45.27%		普通作業員 東京単価			R2006	
ガソリン JIS2号レギュラ		1.39%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド			T3004	
積算単価				積算単価			EP001	

小 矢 部

S6807

施 工 内 訳 表

施工 第0-0005号表

頁0-0021

[名 称] 機械投入埋戻工（碎石路床）			[規格1] 再生碎石 RC-40			[規格2]			100	m3	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考		
土木一般世話役 一般施工			人					R2008			
普通作業員			人					R2006 バックホウ投入補助＋タンパ締固補助			
再生碎石 RC-40	120.00		m3					T4090 埋戻し用			
バックホウ運転（クレーン機能付） 1次基準排対 （機－1）			時間					S1320			
タンパ締固め	100.00		m3					SP2015	施工 第0-0004号表		
諸雑費	1		式					#90			
合計	100		m3								
単位当り	1		m3								
A=4 バックホ C=1.2 土量変化率				B=2	再生碎石	RC-40					

小 矢 部

SP2002

施 工 内 訳 表

施工 第0-0006号表

[名 称] 土砂等運搬			1 m3 当り		
[規格1] 標準			[規格2] 土砂(岩塊・玉石混り土含む)		
機械構成比: 47.71%			標準単価: 1,274.6		
労務構成比: 37.09%			市場単価構成比: 0.00%		
材料構成比: 15.20%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
ダンプトラック	47.71%		ダンプトラック		M1450
一般運転手	37.09%		運転手(一般) 東京単価		R2015
軽油 (パトロール)	15.20%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 標準			B=3 バックホウ山積0.45m3(平積0.35m3)		
C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む)			D=1 DID区間 無し		
I=7 6.0km以下					

S6992

施 工 内 訳 表

施工 第0-0007号表

頁0-0023

[名 称] リブ付硬質塩化ビニル管設置工					
[規格1] 市場単価方式					
[規格2] 呼び径 150mm					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
リブ付硬質塩化ビニル管設置工 呼び径 150mm	1.00	m			TH870
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	m			
A=1 呼び径 150mm C=1 時間的制約無			B=1 20m以上 D=1 標準（昼間）		

S6994

施 工 内 訳 表

施工 第0-0008号表

頁0-0024

[名 称] 砕石基礎工						1	m3	当り
[規格1] 市場単価方式			[規格2] 機械施工					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
砕石基礎設置 機械施工	1.00	m3			TH878			
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	m3						
A=2 機械施工 C=1 時間的制約無			B=1 10m3以上 D=1 標準（昼間）					

S6821

施 工 内 訳 表

施工 第0-0009号表

頁0-0025

[名 称] たて込み簡易土留 建込工						10	m	当り
[規格 1] H=2.0m			[規格 2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備	考	
バックホウ運転 2次基準排対 (機-1)			時間			S1320		
土木一般世話役 一般施工			人			R2008		
特殊作業員			人			R2005		
普通作業員			人			R2006		
諸雑費	1		式			#90		
合計	10		m					
単位当り	1		m					
A=2 掘削深 (m)								

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] たて込み簡易土留 引抜工						10	m	当り
[規格 1] H=2. 0m			[規格 2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備	考	
トラッククレーン賃料			日			S5326		
土木一般世話役 一般施工			人			R2008		
特殊作業員			人			R2005		
普通作業員			人			R2006		
諸雑費	1		式			#90		
合計	10		m					
単位当り	1		m					
A=2 掘削深 (m)				B=0 クレーン賃料補正係数				

施 工 内 訳 表

[名 称] たて込み簡易土留 建込工						10	m	当り
[規格 1] H=2. 5m			[規格 2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
バックホウ運転 2次基準排対 (機－1)		時間			S1320			
土木一般世話役 一般施工		人			R2008			
特殊作業員		人			R2005			
普通作業員		人			R2006			
諸雑費	1	式			#90			
合計	10	m						
単位当り	1	m						
A=2. 5 掘削深 (m)								

S6822

施 工 内 訳 表

施工 第0-0012号表

頁0-0028

[名 称] たて込み簡易土留 引抜工						10	m	当り
[規格 1] H=2.5m						[規格 2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
トラッククレーン賃料			日					S5326
土木一般世話役 一般施工			人					R2008
特殊作業員			人					R2005
普通作業員			人					R2006
諸雑費	1		式					#90
合計	10		m					
単位当り	1		m					
A=2.5 掘削深 (m)				B=0	クレーン賃料補正係数			

小 矢 部

S7950

施 工 内 訳 表

施工 第0-0013号表

頁0-0029

[名 称] ウエルポイント工				1		式 当り
[規格1] 設置及び撤去		[規格2]				
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
ウエルポイント設置	41.00	本			S7951 施工 第0-0014号表	
ウエルポイント撤去	41.00	本			S7951 施工 第0-0015号表	
ウエルポイントポンプ設置	1.00	組			S7954 施工 第0-0016号表	
ウエルポイントポンプ撤去	1.00	組			S7954 施工 第0-0017号表	
ウエルポイントポンプ運転管理 ポンプ設置 1～5台	7.00	日			S7955 施工 第0-0018号表	
ウエルポイント損料	1.00	式			S7956 施工 第0-0019号表	
ジェット装置損料	1.00	式			S7957 施工 第0-0020号表	
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	式				
A=1 設置及び撤去 C=41 ウエルポイント本数 (本) E=0 腐蝕補正係数			B=1 ウエルポイントポンプ組数 (組) D=75 ヘッダーライン延長 (m) F=1 スターカッター無し			
G=2 サンドフィルター有り I=13 供用日数 K=1 100本未満			H=2 その他 J=7 ポンプ運転日数			

S7951

施 工 内 訳 表

施工 第0-0014号表

頁0-0030

[名 称] ウエルポイント設置				100	本	当り	
[規格 1]				[規格 2]			
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工			人				R2008
特殊作業員			人				R2005
普通作業員			人				R2006
諸雑費			%				#09 トラック運転経費等
合計	100		本				
単位当り	1		本				
A=1 設置 C=2 サンドフィルター有り				B=1 100本未満 D=2 その他			

小 矢 部

S7951

施 工 内 訳 表

施工 第0-0015号表

頁0-0031

[名 称] ウエルポイント撤去		[規格 1]		[規格 2]		100	本	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備	考	
土木一般世話役 一般施工			人			R2008		
特殊作業員			人			R2005		
普通作業員			人			R2006		
諸雑費			%			#09 トラック運転経費等		
合計	100		本					
単位当り	1		本					
A=2 撤去				B=1 100本未満				

施 工 内 訳 表

[名 称] ウエルポイントポンプ設置		[規格 1]		[規格 2]		1	組	当り
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
土木一般世話役 一般施工			人				R2008	
特殊作業員			人				R2005	
普通作業員			人				R2006	
諸雑費			%				#09 トラック（クレーン装置付）運転経費等	
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		組					
A=1 ウエルポイントポンプ設置								

施 工 内 訳 表

[名 称] ウエルポイントポンプ撤去						1	組	当り
[規格1]						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考		
土木一般世話役 一般施工			人			R2008		
特殊作業員			人			R2005		
普通作業員			人			R2006		
諸雑費			%			#09 トラック（クレーン装置付）運転経費等		
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		組					
A=2 ウエルポイントポンプ撤去								

S7955

施 工 内 訳 表

施工 第0-0018号表

頁0-0034

[名 称] ウェルポイントポンプ運転管理					
[規格1] ポンプ設置 1～5台			[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土木一般世話役 一般施工		人			R2008
特殊作業員		人			R2005
諸雑費		%			#09
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	日			
A=1 ポンプ使用組数（組）			B=2 その他		

S7956

施 工 内 訳 表

施工 第0-0019号表

頁0-0035

[名 称] ウエルポイント損料		[規格 2]				1	式	当り		
[規格 1]										
名 称 ・ 規 格 な ど		数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
ウエルポイントポンプ損料		13.00		日						
ウエルポイントポンプ損料 1 現場当り損料		1.00		組					K2451	
ウエルポイント損料		13.00		日						
ウエルポイント損料 1 現場当り損料		41.00		本					K2453	
ヘッダーライン損料		13.00		日						
ヘッダーライン損料 1 現場当り損料		75.00		m					K2455	
諸雑費		1		式					#90	
単位当り		1		式						
A=13 C=41 E=0	供用日数（日） ウエルポイント本数（本） 腐触補正係数				B=1 D=75	ウエルポイントポンプ組数 ヘッダーライン延長（m）	(組)			

小 矢 部

S7957

施 工 内 訳 表

施工 第0-0020号表

頁0-0036

[名 称] ジェット装置損料 [規格 1]		[規格 2]				1	式	当り	
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備	考
ジェット装置損料 供用 1 カ月 1 組当り損料			日					K2456	
ジェット装置損料 1 現場当り損料		1. 00	組					K2457	
諸雑費		1	式					#90	
＊ ＊単位当り＊ ＊		1	式						
B=1 スターカッター無し									

S7950

施 工 内 訳 表

施工 第0-0021号表

頁0-0037

[名 称] ウエルポイント工		[規格1] 設置及び撤去		[規格2]		1	式 当り
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考	
ウエルポイント設置		39.00	本			S7951	施工 第0-0014号表
ウエルポイント撤去		39.00	本			S7951	施工 第0-0015号表
ウエルポイントポンプ設置		1.00	組			S7954	施工 第0-0016号表
ウエルポイントポンプ撤去		1.00	組			S7954	施工 第0-0017号表
ウエルポイントポンプ運転管理 ポンプ設置 1～5台		7.00	日			S7955	施工 第0-0018号表
ウエルポイント損料		1.00	式			S7956	施工 第0-0022号表
ジェット装置損料		1.00	式			S7957	施工 第0-0023号表
単位当り		1	式				
A=1 C=39 E=0	設置及び撤去 ウエルポイント本数 (本) 腐蝕補正係数			B=1 D=74 F=1	ウエルポイントポンプ組数 ヘッダーライン延長 (m) スターカッター無し	(組)	
G=2 I=11 K=1	サンドフィルター有り 供用日数 100本未満			H=2 J=7	その他 ポンプ運転日数		

S7956

施 工 内 訳 表

施工 第0-0022号表

頁0-0038

[名 称] ウエルポイント損料		[規格 2]				1	式	当り
[規格 1]								
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
ウエルポイントポンプ損料	11.00	日						
ウエルポイントポンプ損料 1 現場当り 損料	1.00	組			K2451			
ウエルポイント損料	11.00	日						
ウエルポイント損料 1 現場当り 損料	39.00	本			K2453			
ヘッダーライン損料	11.00	日						
ヘッダーライン損料 1 現場当り 損料	74.00	m			K2455			
諸雑費	1	式			#90			
＊ ＊ 単位当り ＊ ＊	1	式						
A=11 供用日数 (日) C=39 ウエルポイント本数 (本) E=0 腐触補正係数			B=1 ウエルポイントポンプ組数 D=74 ヘッダーライン延長 (m)	(組)				

S7957

施 工 内 訳 表

施工 第0-0023号表

頁0-0039

[規格 1]					[規格 2]				
名 称 ・ 規 格 な ど		数 量	単 位	単 価	金 額	備 考			
ジェット装置損料 供用 1 カ月 1 組当り損料			日			K2456			
ジェット装置損料 1 現場当り損料		1. 00	組			K2457			
諸雑費		1	式			#90			
単位当り		1	式						
B=1 スターカッター無し									

施 工 内 訳 表

[名 称] 組立マンホール設置工					
[規格1] 1号(内径900mm)			[規格2] マンホール深さ3m以下		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
組立マンホール設置工 1号 マンホール深さ 3m以下	1.00	個所			TH274
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	箇所			
A=2 1号(内径900mm) C=2 4箇所未満 E=1 標準(昼間)			B=4 3m以下 D=1 時間的制約無		

S6871

施 工 内 訳 表

施工 第0-0025号表

頁0-0041

[名 称] マンホール設置工 (底部工)						1	箇所	当り
[規格1] 組立式			[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単 価	金 額	備	考	
再生砕石 RC-40	1.68		m3			T4090		
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.17		m3			SP2082	施工	第0-0026号表
モルタル上塗工	0.71		m2			S6841	施工	第0-0027号表
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		箇所					
A=1.4 砕石基礎数量 (m3／箇所)				B=2 再生砕石				
C=0.173 インバートコンクリート数量 (m3／箇所)				D=1 一般養生				
E=0.713 モルタル上塗数量 (m2／箇所)				F=0.02 モルタル量 (m3／m2)				
G=2 普通				H=1 生コン小型車割増なし				

施 工 内 訳 表

頁0-0042

SP2082

施工 第0-0026号表

[名 称] コンクリート			1 m3 当り		
[規格 1] 無筋・鉄筋構造物			[規格 2] 人力打設		
機械構成比： 0.00%			標準単価： 22,622		
労務構成比： 31.87%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 68.13%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	15.01%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊作業員	8.45%		特殊作業員 東京単価		R2005
土木一般世話役 一般施工	6.19%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
生コンクリート 18－ 8－40 W/C≤65%	68.13%		生コンクリート 東京単価 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		T4014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=23 18－ 8－40 W/C≤65% G=2 現場内小運搬 無し			B=4 人力打設 E=2 一般養生 L=1 生コン小型車割増なし		

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] モルタル上塗り						1	m2	当り
[規格1]						[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
モルタル練 混合比 1 : 2	0.02		m3				SP2083	施工 第0-0028号表
左官			人				R2038	
普通作業員			人				R2006	
諸雑費	1		式				#90	
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		m2					
A=0.02 モルタル量 (m3／m2) C=1 普通				B=2	1 : 2			

施 工 内 訳 表

SP2083

施工 第0-0028号表

頁0-0044

[名 称] モルタル練			[規格 2]		
[規格 1] 混合比 1 : 2			1 m3 当り		
機械構成比 : 0.00%			標準単価 : 44,520		
労務構成比 : 61.62%			市場単価構成比 : 0.00%		
材料構成比 : 38.38%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
普通作業員	61.62%		普通作業員 東京単価		R2006
セメント(普通ポルトランド) 袋物 JISR-5210	28.46%		セメント 東京単価 高炉B 25kg袋入		T3265
砂 (細目・荒目)	9.92%		砂 東京単価 細目(洗い)		T4041
積算単価			積算単価		EP001
A=1 普通			B=2 1 : 2		

小 矢 部

S6871

施 工 内 訳 表

施工 第0-0029号表

頁0-0045

[名 称] マンホール設置工 (底部工)			1			箇所	当り
[規格1] 組立式、インバートのみ			[規格2]				
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考		
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 人力打設	0.17	m3			SP2082	施工	第0-0026号表
モルタル上塗工	0.71	m2			S6841	施工	第0-0027号表
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	箇所					
A=0 砕石基礎数量 (m3／箇所) D=1 一般養生 F=0.02 モルタル量 (m3／m2) H=1 生コン小型車割増なし			C=0.173 インバートコンクリート数量 (m3／箇所) E=0.713 モルタル上塗数量 (m2／箇所) G=2 普通				

施 工 内 訳 表

[名 称] マンホール設置工 (底部工)					
[規格1] 組立式、インバートなし			[規格2]		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
再生碎石 RC-40	1.68	m3			T4090
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	箇所			
A=1.4 碎石基礎数量 (m3／箇所) C=0 インバートコンクリート数量 (m3／箇所)			B=2 再生碎石 E=0 モルタル上塗数量 (m2／箇所)		

施 工 内 訳 表

[名 称] 小型マンホール工 (塩化ビニル製)						1	箇所	当り
[規格1] 起点および中間形式			[規格2] 2m以下 本管径150mmおよび200mm					
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
小型マンホール工 深さ2m以下 本管径150および200	1.00		箇所				TH291	
小型マンホール設置工 加算額 鋳鉄製防護蓋設置費	1.00		箇所				TH299	
＊ ＊単位当り＊ ＊	1		箇所					
A=1 起点および中間形式 C=1 本管径150mmおよび200mm E=1 時間的制約無				B=1 2m以下 D=2 5箇所未満 F=1 標準 (昼間)				
G=1 鋳鉄製防護蓋を設置する				H=2 起点落差形式(KDR)を設置しない				

施 工 内 訳 表

[名 称] ます設置工 (塩化ビニル製)					
[規格 1] 市場単価方式			[規格 2] ます径200mm		
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ます設置工 (塩化ビニル製) ます (径200)	1.00	個所			TH242
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	箇所			
A=2 ます径200mm C=1 時間的制約無 E=2 鋳鉄製防護蓋を設置しない			B=2 5箇所未満 D=1 標準 (昼間)		

施 工 内 訳 表

[名 称] ます設置工（塩化ビニル製）					
[規格1] 市場単価方式			[規格2] ます径200mm		
1	箇所	当り			
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ます設置工（塩化ビニル製） ます（径200）	1.00	箇所			TH242
ます設置工（塩化ビニル製）加算額 鋳鉄製防護蓋設置費	1.00	箇所			TH249
＊ ＊単位当り＊ ＊	1	箇所			
A=2 ます径200mm C=1 時間的制約無 E=1 鋳鉄製防護蓋を設置する			B=1 5箇所以上 D=1 標準（昼間）		

施 工 内 訳 表

[名 称] 取付管布設および支管取付工				1		箇所		当り		
[規格 1] 市場単価方式				[規格 2] 管径100mm						
名 称 ・ 規 格 な ど		数	量	単	位	単		価	金 額	備 考
取付管布設工および支官取付工 管径100		1.00		箇所						TH245
単位当り		1		箇所						
A=1	管径100mm			B=1	5箇所以上					
C=1	時間的制約無			D=1	標準（昼間）					
E=1	取付管長3m未満			F=1	コンクリート製・陶製以外					
G=2	可とう性支管を設置しない									

施工内訳表

頁0-0051

〔規格 2〕 管径100mm

[illegible]

小 矢 部

施工内訳表

頁0-0052

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4028

施工 第0-0037号表

[名 称] 舗装版切断 アスファルト舗装版			[規格 2]		
[規格 1] アスファルト舗装版			1 m 当り		
機械構成比： 6.29%			標準単価： 558.1		
労務構成比： 54.24%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 39.47%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ	4.25%		コンクリートカッタ		M2002
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	18.90%		特殊作業員 東京単価		R2005
土木一般世話役 一般施工	9.56%		土木一般世話役 東京単価		R2008
普通作業員	8.20%		普通作業員 東京単価		R2006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドブレード 径56cm	36.63%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ		T3663
ガソリン JIS2号レギュラ	1.92%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=1	アスファルト舗装版 全ての費用		B=1 15cm以下		

施 工 内 訳 表

SP4028

施工 第0-0038号表

[名 称] 舗装版切断 コンクリート舗装版			[規格 2]		
[規格 1] コンクリート舗装版			1 m 当り		
機械構成比： 5.06%			標準単価： 1,062.1		
労務構成比： 43.68%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 51.26%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
コンクリートカッタ	3.42%		コンクリートカッタ		M2002
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	15.19%		特殊作業員 東京単価		R2005
土木一般世話役 一般施工	7.71%		土木一般世話役 東京単価		R2008
普通作業員	6.61%		普通作業員 東京単価		R2006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ダイヤモンドブレード 径56cm	48.97%		コンクリートカッタ (ブレード) 東京単価 径22インチ		T3663
ガソリン JIS2号レギュラ	1.55%		ガソリン 東京単価 レギュラー スタンド		T3004
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001
A=2 E=1	コンクリート舗装版 全ての費用		C=1 15cm以下		

施 工 内 訳 表

SP4027

施工 第0-0039号表

[名 称] 舗装版直接掘削・積込工 アスファルト舗装			1 m2 当り		
[規格1] アスファルト舗装版			[規格2] 障害等 無し		
機械構成比： 9.77% 労務構成比： 81.96% 材料構成比： 8.27%			市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 166.23		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料	9.77%		バックホウ（クローラ型） 東京単価 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）		T7275
土木一般世話役 一般施工	29.03%		土木一般世話役 東京単価		R2008
特殊運転手	28.06%		運転手（特殊） 東京単価		R2002
普通作業員	24.87%		普通作業員 東京単価		R2006
軽油 (パトロール)	8.27%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 C=1 騒音振動対策 不要 F=1 積込作業 有り			B=1 障害等 無し D=4 15cm以下		

施 工 内 訳 表

頁0-0056

SP4027

施工 第0-0040号表

[名 称] 舗装版直接掘削・積込工 コンクリート舗装			1 m2 当り		
[規格1] コンクリート舗装版			[規格2] 障害等 無し		
機械構成比： 9.77% 労務構成比： 81.96% 材料構成比： 8.27%			市場単価構成比： 0.00% 標準単価： 166.23		
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
バックホウ賃料	9.77%		バックホウ（クローラ型） 東京単価 山積0.45m ³ （平積0.35m ³ ）		T7275
土木一般世話役 一般施工	29.03%		土木一般世話役 東京単価		R2008
特殊運転手	28.06%		運転手（特殊） 東京単価		R2002
普通作業員	24.87%		普通作業員 東京単価		R2006
軽油 (パトロール)	8.27%		軽油 東京単価 1.2号 パトロール給油		T3002
積算単価			積算単価		EP001
A=2 C=1 F=1	コンクリート舗装版 騒音振動対策 不要 積込作業 有り		B=1 D=4	障害等 無し 15cm以下	

小 矢 部

施 工 内 訳 表

[名 称] 殻運搬			1 m3 当り		
[規格 1] 舗装版破碎			[規格 2] 機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下)		
機械構成比： 47.71%			標準単価： 2,623.5		
労務構成比： 37.09%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 15.20%					
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)
ダンプトラック		47.71%		ダンプトラック	M1450
一般運転手		37.09%		運転手 (一般) 東京単価	R2015
軽油 (パトロール)		15.20%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油	T3002
積算単価				積算単価	EP001
A=2 C=1	舗装版破碎 DID区間 無し			B=4 J=4	機械積込(騒音対策不要、舗装版厚15cm以下) 6.5km以下

S5099

施 工 内 訳 表

施工 第0-0042号表

頁0-0058

[名 称] As舗装切断排水運搬費					
[規格1] 2tダンプトラック運搬					
[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032
単位当り	1	式			
A=1 当初 C=151 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.05 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=23 片道運搬距離 L (km) G=1 良好		

施 工 内 訳 表

[名 称] Co舗装切断排水運搬費					
[規格1] 2tダンプトラック運搬					
[規格2]					
名 称 ・ 規 格 な ど	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ダンプトラック運転 (機-22)		日			S1032
単位当り	1	式			
A=1 当初 C=70 舗装版切断延長 1 (m) F=1 DID区間なし			B=0.1 アスファルト又はコンクリートの切断平均深さ t (m) E=23 片道運搬距離 L (km) G=1 良好		

施 工 内 訳 表

SP4001

施工 第0-0044号表

頁0-0060

[名 称] 不陸整正			[規格 2]			1	m2	当り
[規格 1] 補足材料 無し								
機械構成比： 25.93%			労務構成比： 67.07%			材料構成比： 7.00%		
						市場単価構成比： 0.00%		
						標準単価： 111.35		
代 表 機 労 材 規 格		構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)		単価(東京地区)	備 考	
モータグレーダ		12.79%		モータグレーダ			MHH601	
マカダムローラ		9.91%		マカダムローラ			MHH705	
タイヤローラ賃料		3.23%		タイヤローラ 東京単価 質量8～20 t			T7390	
特殊運転手		42.37%		運転手(特殊) 東京単価			R2002	
特殊作業員		13.03%		特殊作業員 東京単価			R2005	
普通作業員		9.47%		普通作業員 東京単価			R2006	
土木一般世話役 一般施工		2.20%		土木一般世話役 東京単価			R2008	
軽油 (パトロール)		7.00%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油			T3002	
積算単価				積算単価			EP001	
A=1 補足材料 無し								

小 矢 部

S4015

施 工 内 訳 表

施工 第0-0045号表

頁0-0061

[名 称] 路盤工 (人力施工)						100	m2	当り
[規格1] 路盤厚20cm						[規格2] 車道		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金 額	備	考
普通作業員			人				R2006	
再生砕石 RC-40	25.40		m3				T4090	
タンパ運転 (機-23)			日				S1235	
諸雑費	1		式				#90	
合計	100		m2					
単位当り	1		m2					
A=2 車道 C=5 再生砕石 RC-40				B=20	仕上り厚 (cm)			

小 矢 部

S4015

施 工 内 訳 表

施工 第0-0046号表

頁0-0062

[名 称] 路盤工 (人力施工)						100	m2	当り
[規格1] 路盤厚15cm						[規格2] 車道		
名 称 ・ 規 格 な ど	数	量	単 位	単	価	金	額	備 考
普通作業員			人					R2006
粒調碎石 M40	19.05		m3					T4051
タンパ運転 (機-23)			日					S1235
諸雑費	1		式					#90
合計	100		m2					
単位当り	1		m2					
A=2 車道 C=4 粒調碎石 M-40				B=15	仕上り厚 (cm)			

小 矢 部

施 工 内 訳 表

SP4007

施工 第0-0047号表

[名 称] 表層(車道・路肩部)			[規格2]		
[規格1] 1層当り平均仕上り厚50mm			1 m2 当り		
機械構成比: 1.81%			標準単価: 1,634.8		
労務構成比: 13.91%			市場単価構成比: 0.00%		
材料構成比: 84.28%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
アスファルトフィニッシャ賃料 [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m	1.21%		アスファルトフィニッシャ 東京単価 [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		T7248
振動ローラ賃料	0.25%		振動ローラ(舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3～4t		T7284
タイヤローラ賃料 3～4t	0.22%		タイヤローラ 東京単価 質量3～4t		T7389
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	4.96%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊作業員	3.41%		特殊作業員 東京単価		R2005
特殊運転手	3.36%		運転手(特殊) 東京単価		R2002
土木一般世話役 一般施工	1.15%		土木一般世話役 東京単価		R2008
その他(労務)			その他(労務)		ER009
アスファルト合材 再生材入り 密粒度 AC 20FA	76.98%		アスファルト混合物 東京単価 密粒度AS混合物(20) 平均仕上がり厚 50mm		T3926
アスファルト乳剤 PK-3	7.05%		アスファルト乳剤 東京単価 PK-3 プライムコート用		T3019

施 工 内 訳 表

SP4007

施工 第0-0047号表

[名 称] 表層 (車道・路肩部)			1 m2 当り		
[規格 1] 1層当り平均仕上り厚50mm			[規格 2]		
機械構成比： 1.81% 労務構成比： 13.91%			材料構成比： 84.28% 市場単価構成比： 0.00%		
			標準単価： 1,634.8		
代 表 機 労 材 規 格		構 成 比	単 価	代 表 機 労 材 規 格 (東京地区)	単 価 (東京地区)
軽油 (パトロール)		0.24%		軽油 東京単価 1. 2号 パトロール給油	T3002
その他 (材料)				その他 (材料)	EZ009
積算単価				積算単価	EP001
A=3	1.4m以上3.0m以下			B=50	1層当り平均仕上り厚 (mm)
C=1	密粒度アスファルト混合物			D=2	プライムコート PK-3
E=5	密粒度 AC 20FA			G=1	全ての費用

SP4003

施 工 内 訳 表

施工 第0-0048号表

[名 称] 路盤工			[規格 2]		
[規格 1] 全仕上り厚100mm			1 m2 当り		
機械構成比： 6.19%			標準単価： 713.44		
労務構成比： 70.45%			市場単価構成比： 0.00%		
材料構成比： 23.36%					
代 表 機 労 材 規 格	構成比	単 価	代 表 機 労 材 規 格(東京地区)	単価(東京地区)	備 考
小型バックホウ賃料	3.20%		小型バックホウ (クローラ型) 東京単価 山積0. 1 1 m 3 (平積0. 0 8 m 3)		T7280
振動ローラ賃料	2.81%		振動ローラ (舗装用) 東京単価 [搭乗・コンバインド式] 質量3～4 t		T7284
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	29.62%		普通作業員 東京単価		R2006
特殊運転手	24.88%		運転手 (特殊) 東京単価		R2002
特殊作業員	13.90%		特殊作業員 東京単価		R2005
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生砕石 RC-40	21.36%		再生クラッシュラン 東京単価 R C - 4 0 平均仕上がり厚 100mm		T4090
軽油 (パトロール)	1.95%		軽油 東京単価 1. 2 号 パトロール給油		T3002
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		EP001

機 労 材 集 計 表

頁0-0067

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
1	K2451	195		2	ウエルポイントポンプ損料	コンプレ等損料
2	K2453	195		80	ウエルポイント損料	コンプレ等損料
3	K2455	195		149	ヘッダーライン損料	コンプレ等損料
4	K2456	195		2.01	ジェット装置損料	コンプレ等損料
5	K2457	195		2	ジェット装置損料	コンプレ等損料
6	K2541	198			タイヤ損耗費及び修理費	消耗品費
7	M1021	191			ダンプトラック	運搬機械等損料
8	M1232	193			ランマ	路盤舗装等損料
9	MH140	190			バックホウ	掘削積込機損料
10	MH894	196			発動発電機	電気機器等損料
11	MHH107	190			バックホウ	掘削積込機損料
12	R2002	18			特殊運転手	特殊運転手
13	R2005	11			特殊作業員	特殊作業員
14	R2006	12			普通作業員	普通作業員
15	R2008	25			土木一般世話役	一般土木世話役
16	R2015	19			一般運転手	一般運転手
17	R2038	31			左官	左官工
18	T3002	66			軽油	軽油
19	T3004	65			ガソリン	ガソリン
20	T4041	50		4	砂	砂
21	T4051	53		13.9065	粒調碎石	粒度調整碎石
22	T4090	52		127.102	再生碎石	クラッシャラン
23	T7041	44			トラッククレーン賃料	建設機械賃料
24	T9351	186		3	1号 マンホール底版	マンホール
25	T9356	186		2	1号 マンホールく体ブロック	マンホール
26	T9357	186		1	1号 マンホールく体ブロック	マンホール
27	T9396	186		2	1号 マンホール斜壁	マンホール
28	T9399	186		1	1号 マンホール斜壁	マンホール
29	T9406	186		1	組立式マンホール調整リング	マンホール
30	T9407	186		2	組立式マンホール調整リング	マンホール
31	T9410	186		2	組立式マンホール調整金具	マンホール
32	T9411	186		1	組立式マンホール調整金具	マンホール
33	TAC09	189		1	As舗装切断排水	投棄料
34	TAK39	189		9	アスファルト廃材処理費	投棄料
35	TCC09	189		1	Co舗装切断排水	投棄料
36	TCY39	189		3	コンクリート廃材処理費	投棄料

小 矢 部

機 労 材 集 計 表

頁0-0068

項番	単価 コード	集計 区分	単 価 値	数量累計	単 価 名 称	集 計 区 分 名 称
37	TH242	200		6	ます設置工（塩化ビニル製）	
38	TH242	200		2	ます設置工（塩化ビニル製）	
39	TH245	200		1	取付管布設工および支官取付工	
40	TH245	200		7	取付管布設工および支官取付工	
41	TH249	200		6	ます設置工（塩化ビニル製）加算額	
42	TH274	999		3	組立マンホール設置工 1号	その他
43	TH291	999		1	小型マンホール工 深さ2m以下	その他
44	TH299	999		1	小型マンホール設置工 加算額	その他
45	TH870	200		146	リブ付硬質塩化ビニル管設置工	
46	TH876	200		3	砂基礎設置	
47	TH878	200		47	碎石基礎設置	
48	TST01	189		184	公共用残土仮置場（搬入）	投棄料
49	WXXXX	966				
50	WXXXX	968				

参考様式

工 事 数 量 総 括 表

工種(レベル2)	規格	単位	数量(前回)	数量(今回)	数量増減	摘要
種別(レベル3)						
細別(レベル4)						
施工名称						
管きょ工(開削, 管径150mm)		式		1		
管路土工		式		1		
管路掘削		式		1		
バックホウ床掘	土砂, 平均施工幅1m以上2m未満	m3		136		
機械掘削工	BH0.45m ³	m3		119		
管路埋戻		式		1		
機械投入埋戻工(流用土路体)	流用土	m3		70		
機械投入埋戻工(砕石路床)	再生砕石RC-40	m3		37		
発生土処理		式		1		
土砂等運搬	標準, 土砂	m3		173		
公共残土仮置場(搬入)	小矢部市 安楽寺	m3		173		
管布設工		式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管		式		1		
リブ付硬質塩化ビニル管設置工	φ150	m		146		
継手類		式		1		
リブゴム可とうマンホール継手	PRPφ150 拡張バンドタイプ	個		6		
管基礎工		式		1		
砕石基礎		式		1		
砕石基礎工	機械施工 再生砕石RC-40	m3		47		
再生砕石	RC-40	m3		56		
管路土留工		式		1		
たて込み簡易土留(H=2.0m)		式		1		
たて込み簡易土留 建込工	H=2.0m	m		117		
たて込み簡易土留 引抜工	H=2.0m	m		117		
たて込み簡易土留 賃料	H=2.0m	式		1		
たて込み簡易土留(H=2.5m)		式		1		
たて込み簡易土留 建込工	H=2.5m	m		33		
たて込み簡易土留 引抜工	H=2.5m	m		33		
たて込み簡易土留 賃料	H=2.5m	式		1		
地下水位低下工		式		1		
ウェルポイント		式		1		
ウェルポイント工	設置及び撤去	式		2		
マンホール工		式		1		
組立マンホール工		式		1		
組立1号マンホール		式		1		
組立マンホール設置工	1号, マンホール深さ3m以下	箇所		3		
マンホール設置工(底部工)	組立式	箇所		1		

	マンホール設置工（底部工）	組立式、インバートのみ	箇所		1		
	マンホール設置工（底部工）	組立式、インバートなし	箇所		1		
	1号マンホール現場削孔費	PRP φ 150, 削孔径 φ 262	箇所		1		
	1号マンホール底版	H=130mm, 外径1300mm	個		3		
	1号マンホールく体ブロック	H=1200mm, φ 900mm	個		2		
	1号マンホールく体ブロック	H=1500mm, φ 900mm	個		1		
	1号マンホール斜壁	H=300mm, φ 600~900mm	個		2		
	1号マンホール斜壁	H=450mm, φ 600~900mm	個		1		
	組立式マンホール調整リング	H=100mm, φ 600mm	個		1		
	組立式マンホール調整リング	H=150mm, φ 600mm	個		2		
	組立式マンホール調整金具	調整高25mmまで	組		2		
	組立式マンホール調整金具	調整高45mmまで	組		1		
	マンホール蓋 車道用T-25	φ 600, 車道用T-25, 受枠込	組		2		
	マンホール蓋 歩道用T-14	φ 600, 歩道用T-14, 受枠込	組		1		
	1号マンホール削孔費 PRP φ 150	φ 262 工場削孔	箇所		2		
	小型マンホール工		式		1		
	小型マンホール工（塩化ビニル製）		式		1		
	小型マンホール工（塩化ビニル製）	2m以下, 本管径150mmおよび200mm	箇所		1		
	小口径マンホール蓋 T-14	φ 300用, 車道用T-14, 台座含む	組		1		
	リブ本管自在継手	φ 150	個		1		
	取付管およびます工		式		1		
	管路土工		式		1		
	管路掘削		式		1		
	機械掘削工	BH0.45m ³	m3		15		
	管路埋戻		式		1		
	機械投入埋戻工（流用土路体）	流用土	m3		3		
	機械投入埋戻工（砕石路床）	再生砕石RC-40	m3		4		
	発生土処理		式		1		
	土砂等運搬	標準, 土砂	m3		11		
	公共残土仮置場（搬入）	小矢部市 安楽寺	m3		11		
	ます設置工		式		1		
	ます（塩化ビニル製）		式		1		
	ます設置工（塩化ビニル製）	ます径200mm	箇所		2		
	ます設置工（塩化ビニル製）	ます径200mm, 鋳鉄製防護蓋設置	箇所		6		
	防護蓋（市章入）T-8	φ 200用, 鉄製T-8, 市章入り	枚		6		
	取付管布設工		式		1		
	取付管（硬質塩化ビニル管）		式		1		
	取付管布設及び支管取付工	取付管長3m未満	箇所		7		
	取付管布設及び支管取付工	上記以外の場合	箇所		1		
	リブ管用ゴム可とう支管継手	φ 150-100	個		7		
	ゴム輪受口異形継手	PRP φ 150-VU φ 100	個		1		
	砂基礎		式		1		
	砂基礎工	機械施工 砂	m3		3		

	砂	細目・荒目	m3		4		
付帯工			式		1		
	舗装撤去工		式		1		
	舗装版切断		式		1		
	舗装版切断	アスファルト舗装	m		151		
	舗装版切断	コンクリート舗装	m		70		
	舗装版破碎		式		1		
	舗装版直接掘削・積込工	アスファルト舗装	m2		174		
	舗装版直接掘削・積込工	コンクリート舗装	m2		30		
	殻運搬処理		式		1		
	殻運搬	舗装版破碎，機械積込	m3		9		
	殻運搬	コンクリート構造物取り壊し	m3		3		
	As舗装切断排水運搬費	2tダンプトラック	式		1		
	Co舗装切断排水運搬費	2tダンプトラック	式		1		
	アスファルト廃材処理費	掘削，石黒工建(株)	m3		9		
	コンクリート廃材処理費	有筋，石黒工建(株)	m3		3		
	As舗装切断排水	(株)高岡市衛生公社	t		1		
	Co舗装切断排水	(株)高岡市衛生公社	t		1		
	舗装復旧工（旧L交通）	100>T	式		1		
	不陸整正		式		1		
	不陸整正	補足材料無し	m2		101		
	下層路盤		式		1		
	路盤工（人力施工）	RC-40，t=20cm，施工幅1.6m未満	m2		73		
	上層路盤		式		1		
	路盤工（人力施工）	M-40，t=15cm，施工幅1.6m未満	m2		73		
	表層		式		1		
	表層（車道・路肩部）	1層当たり平均仕上り厚50mm	m2		174		
	舗装復旧工（砂利道）		式		1		
	砂利舗装工		式		1		
	路盤工	RC-40，t=10cm	m2		73		
直接工事費			式		1		
	共通仮設費		式		1		
	技術管理費		式		1		
	共通仮設費（率分）		式		1		
純工事費			式		1		
	現場管理費		式		1		
工事原価			式		1		
	一般管理費等		式		1		
工事価格			式		1		
消費税相当額			式		1		
工事費			式		1		

補助路線

水道控除

50 32.28 m3

75 33.32 m3

1号マンホール数量計算書

補助路線

路線 番号	マン ホー ル 番 号	マン ホー ル 深	マン ホ ー 底 版 深	マンホールブロック																				鉄 蓋 H=11cm T-14T-25	底 部 工	削孔工		副管工		ブロック 据付高(m)			備 考	
				調 整 金 具		調整リング			片斜壁			直 壁						軀 体 部								底 版 H=13cm	管 径	箇所 数	高 さ	箇所 数	1.20 ～ 3.00	3.01 ～ 4.00		4.01 ～ 5.00
				25 mm	45 mm	H=5 cm	H=10 cm	H=15 cm	H=30 cm	H=45 cm	H=60 cm	H=30 cm	H=60 cm	H=90 cm	H=120 cm	H=150 cm	H=180 cm	H=60 cm	H=90 cm	H=120 cm	H=150 cm	H=180 cm												
				個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	個	組	組	ヶ所	mm	ヶ所	m	ヶ所		ヶ所
	M151-2	1.590	1.890		1		1		1										1			1	1		1	φ150	1			1			単独	
																																	単独	
	M142-2	1.751	2.051	1				1		1									1			1	1						1					
	M143-1-1	1.910	2.210	1				1	1											1		1	1	φ150	1				1					
	M143-1-2																							現場削孔 φ150	1									
	計				2	1		1	2	2	1									2	1	3	1	2	3	φ100 φ150	1			3				

補助路線

補助路線

補助路線

上段：道路左側
下段：道路右側

L交通

[illegible]

上段：道路左側
下段：道路右側

未舗装

上段：道路左側
下段：道路右側

ウエルポイントの計算

路線 **M142,3** ボーリング資料 **H29** 年度 No **1孔**
管径 **150 mm**

1. 設計条件

透水係数 : K 4.1×10^{-4} m/s = **0.04100** cm/s = **0.024600** m/分
地下水位 : GL - **1.00** m
不透水層位 : GL - **10.00** m(推定)
施工区間 : L1 **50** m
平均掘削深 : h **1.96** m
掘削幅 : L2 **0.95** m
土質 : **砂礫**
1本当り揚水量 q **33** ℓ/分 (表-3 参照)

H=自由水の滞水層厚 **10.00** m - **1.00** m = **9.00** m

h=低下後の水深 **7.54** m (平均掘削深+0.50m)

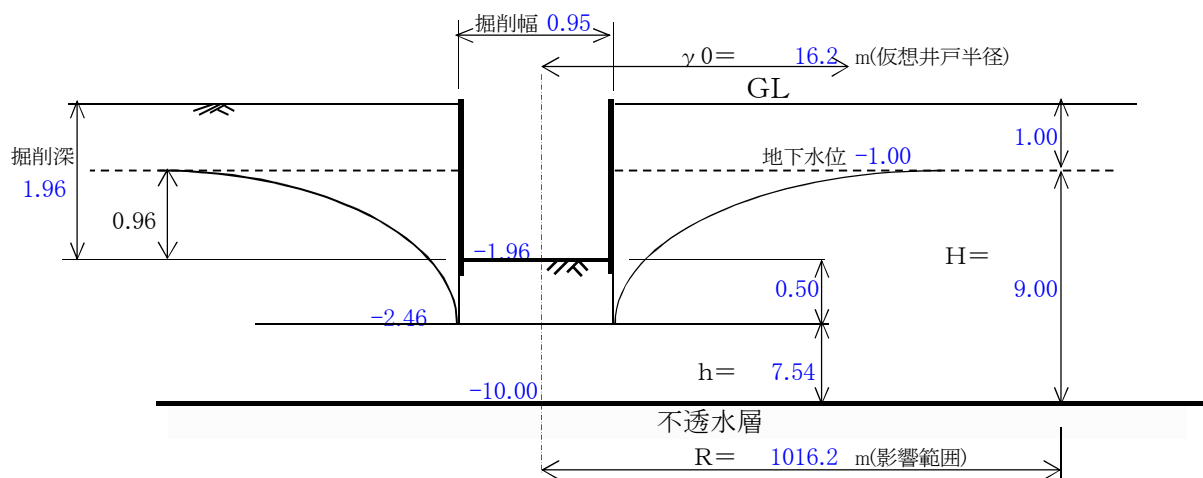
$\gamma 0$ = 井戸の半径 = $2(L1+L2)/2\pi$ = **16.2** m
仮想井戸半径(対象域が細長い場合)

L1=施工延長 **50** m
L2=掘削幅 **0.95** m

R = 影響範囲 = **150** + $\gamma 0$ = **1000** m + **16.2** m = **1016.2** m
(表-2参照)

2. 揚水量 Q (m³/分)

排水量の算定は大口径の井戸と仮定し、その井戸から揚水量のティーム平衡式によって求める。



$$Q = \frac{(H^2 - h^2) \cdot \pi \cdot K}{2.3 \cdot \log(R / \gamma 0)} \quad (\text{自由地下水}) \quad (\text{ティームの平衡式})$$

$$= \frac{1.8653}{4.1323} \text{ m}^3/\text{分} = \mathbf{451.0} \text{ ℓ/分}$$

3. ウェルポイントの本数 n (本)

$$n = 2 \cdot Q / q = 902.0 \text{ ㍓/分} \div 33 \text{ ㍓/分} = 28 \text{ 本}$$

n : ウェルポイントの本数

Q : 計算で求めた揚水量(㍓/分)

q : ウェルポイント1本当りの揚水量 (約 33 ㍓/分)

4. ウェルポイントの間隔 a (m)

$$a = L1 / n = 50 \text{ m} \div 28 \text{ 本} = 1.8 \text{ m}$$

(但し、ウェルポイントの打設間隔は $0.50\text{m} \leq a \leq 2.00\text{m}$ であり、間隔が2.00m以上の場合は排水量が少ないと判断し、釜場排水とする)

L1 : 施工延長(m)

n : 必要ウェルポイントの本数(本)

5. ポンプの口径及び台数 2Q

必要排水量は $2Q = 902 \text{ ㍓/分}$ であるため、ヒューガルポンプ口径は 125 mm 1 台

表-1 ヒューガルポンプの排水量

口径 mm	揚水量 $\text{m}^3/\text{分}$ (A)	有効排水量 (A) $\times 0.8$	動力kw
80	0.95	0.76	3.7
100	1.0	0.80	5.5
125	1.5	1.20	7.5
150	2.5	2.00	11.0

6. 結果

ウェルポイント間隔が 1.8 mとなったため、**ウェルポイント排水**とする

表-2 揚水井戸の影響範囲

土 質		影響範囲 R(m)
区 分	粒 径(mm)	
粗 れ き	>10	>1500
れ き	2~10	500~1500
粗 砂	1~2	400~500
粗 砂	0.5~1	200~400
粗 砂	0.25~0.5	100~200
細 砂	0.10~0.25	50~100
細 砂	0.05~0.10	10~50
シルト	0.025~0.05	5~10

(土と基礎の設計計算演習(第3回改訂版):土質工学会 p47)

表-3 透水係数と揚水量の関係

透水係数 K (m/s)	揚水量 q (㍓/分)
1×10^{-5}	1~5
5×10^{-5}	5~10
1×10^{-4}	10~20
5×10^{-4}	40~
土質	揚水量 q (㍓/分)
礫	50~70
砂 礫	30~50
粗 礫	20~25
砂	15前後
細 砂	8~10

(根切り工事と地下水):土質工学会p211

ウエルポイントの計算

路線 M151 ボーリング資料 H29 年度 No 1孔
管径 150 mm

1. 設計条件

透水係数 : K 4.1×10^{-4} m/s = 0.04100 cm/s = 0.024600 m/分
地下水位 : GL - 1.00 m
不透水層位 : GL - 10.00 m(推定)
施工区間 : L1 50 m
平均掘削深 : h 1.71 m
掘削幅 : L2 0.95 m
土質 : 砂礫
1本当り揚水量 q 30 ℓ/分 (表-3 参照)

H=自由水の滞水層厚 10.00 m - 1.00 m = 9.00 m

h=低下後の水深 7.79 m (平均掘削深+0.50m)

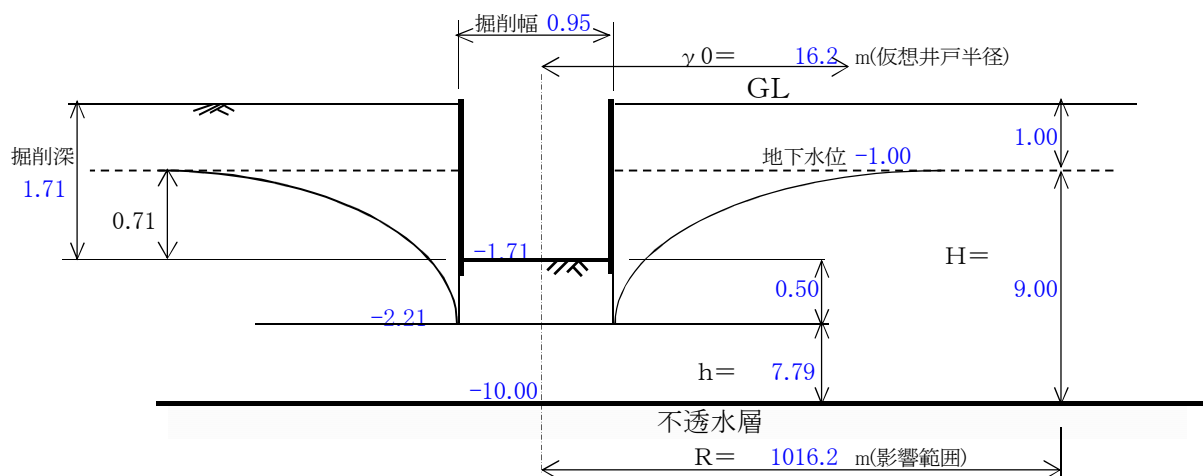
$\gamma 0$ = 井戸の半径 = $2(L1+L2)/2\pi = 16.2$ m
仮想井戸半径(対象域が細長い場合)

L1=施工延長 50 m
L2=掘削幅 0.95 m

R = 影響範囲 = 150 + $\gamma 0$ = 1000 m + 16.2 m = 1016.2 m
(表-2参照)

2. 揚水量 Q (m³/分)

排水量の算定は大口径の井戸と仮定し、その井戸から揚水量のティーム平衡式によって求める。



$$Q = \frac{(H^2 - h^2) \cdot \pi \cdot K}{2.3 \cdot \log(R / \gamma 0)} \quad (\text{自由地下水}) \quad (\text{ティームの平衡式})$$

$$= \frac{1.5693}{4.1323} \text{ m}^3/\text{分} = 380.0 \text{ ℓ/分}$$

3. ウエルポイントの本数 n (本)

$$n = 2 \cdot Q / q = 760.0 \text{ ㍔/分} \div 30 \text{ ㍔/分} = 26 \text{ 本}$$

n : ウエルポイントの本数

Q : 計算で求めた揚水量(㍔/分)

q : ウエルポイント1本当りの揚水量 (約 30 ㍔/分)

4. ウエルポイントの間隔 a (m)

$$a = L1 / n = 50 \text{ m} \div 26 \text{ 本} = 1.9 \text{ m}$$

(但し、ウエルポイントの打設間隔は $0.50\text{m} \leq a \leq 2.00\text{m}$ であり、間隔が2.00m以上の場合は排水量が少ないと判断し、釜場排水とする)

L1 : 施工延長(m)

n : 必要ウエルポイントの本数(本)

5. ポンプの口径及び台数 2Q

必要排水量は $2Q = 760 \text{ ㍔/分}$ であるため、ヒューガルポンプ口径は 125 mm 1 台

表-1 ヒューガルポンプの排水量

口径 mm	揚水量 $\text{m}^3/\text{分}$ (A)	有効排水量 (A) $\times 0.8$	動力kw
80	0.95	0.76	3.7
100	1.0	0.80	5.5
125	1.5	1.20	7.5
150	2.5	2.00	11.0

6. 結 果

ウエルポイント間隔が 1.9 mとなったため、**ウエルポイント排水**とする

表-2 揚水井戸の影響範囲

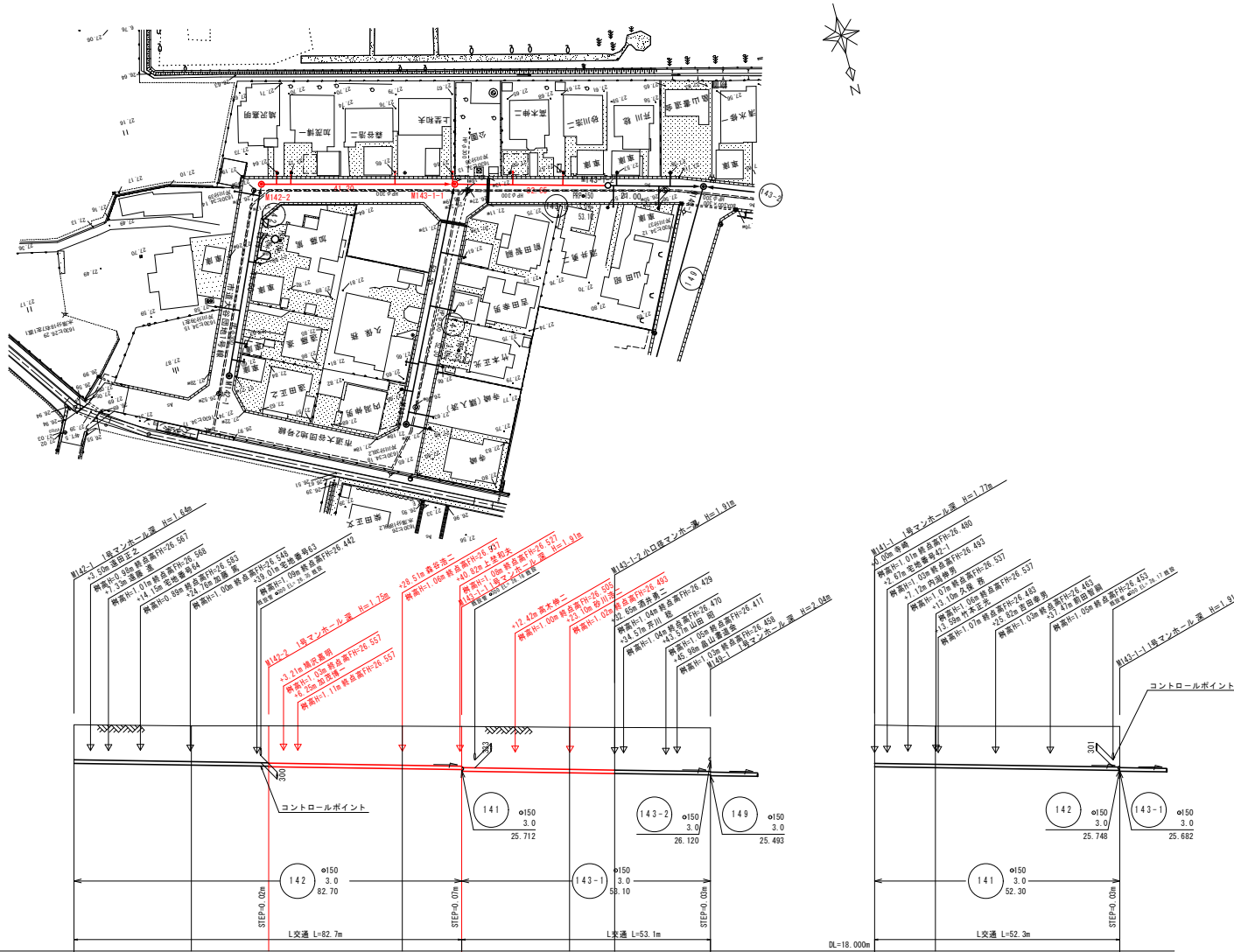
土 質		影響範囲 R(m)
区 分	粒 径(mm)	
粗 れ き	>10	>1500
れ き	2~10	500~1500
粗 砂	1~2	400~500
粗 砂	0.5~1	200~400
粗 砂	0.25~0.5	100~200
細 砂	0.10~0.25	50~100
細 砂	0.05~0.10	10~50
シ ル ト	0.025~0.05	5~10

(土と基礎の設計計算演習(第3回改訂版):土質工学会 p47)

表-3 透水係数と揚水量の関係

透水係数 K (m/s)	揚水量 q (㍔/分)
1×10^{-5}	1~5
5×10^{-5}	5~10
1×10^{-4}	10~20
5×10^{-4}	40~
土質	揚水量 q (㍔/分)
礫	50~70
砂 礫	30~50
粗 礫	20~25
砂	15前後
細 砂	8~10

(根切り工事と地下水):土質工学会p211

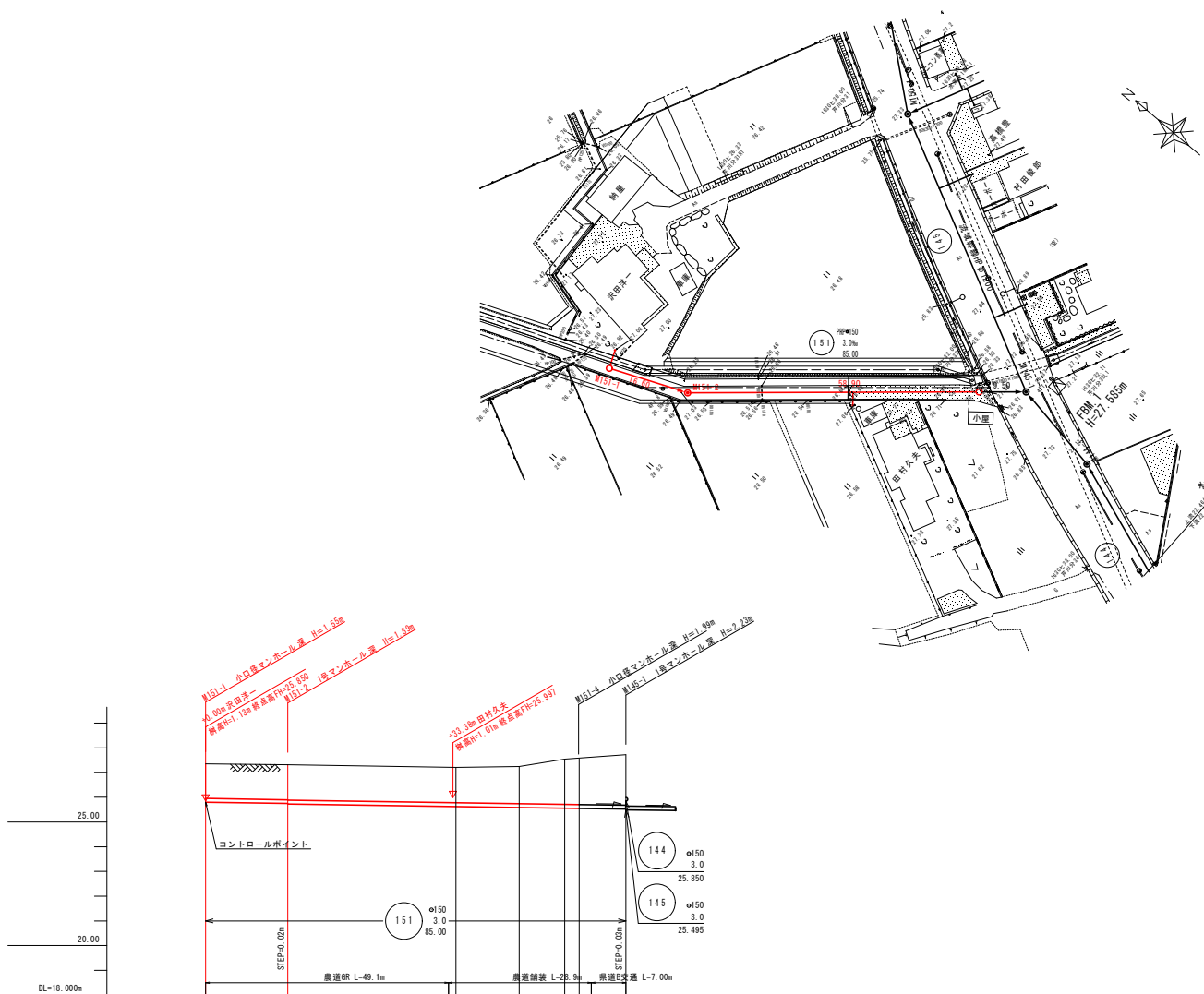


管番号	142		143-1		141	
掘削深	1.76				1.84	
掘削底高	25.04				25.76	
土被り	1.40				1.61	
管底高	26.01	25.90	25.61	25.52	27.64	25.88
現況地盤高	27.66	27.62	27.58	27.54	27.64	27.62
追加距離	0.00	41.50	105.70	115.35	13.00	52.30
単距離	0.00	25.00	12.70	20.45	0.00	39.30

凡 例	
記 号	名 称
---	既 設 管 路
---	計 画 管 路
---	既 設 管 路
●	1 号 マンホール
○	小口径マンホール
⊙	2 号 マンホール
⊕	マンホールポンプ
⊗	副管付マンホール
●	汚水側 及 取付管
●	汚水側 及 取付管 (無)
120	管 番 号
PPFφ150 L=3.0m L=60.00m	管径・勾配・延長
---	N T T 管
---	流域下水道管
---	ほ場整備計画
---	県市道路計画

管 号 表			
141	142	143-1	

業 務 名	小矢部市特定環境保全公共下水道 丹川地区管渠設置工事		
図 面 名	平 面 図 ・ 縦 断 面 図		
縮 尺	A1 1:500, 1:100 A3 1:1000, 1:200	図面番号	
作成年月日			
製 図	設 計	監 査	施 工
小 矢 部 市 上 下 水 道 課			



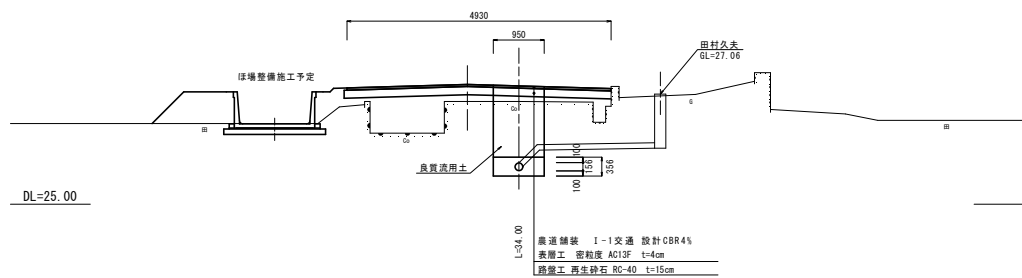
凡 例	
記 号	名 称
---	既 設 管 路
---	計 画 管 路
---	既 設 管 路
●	1 号 マンホール
○	小口径マンホール
⊙	2 号 マンホール
⊕	マンホールポンプ
⊗	副管付マンホール
●	汚水側 及 取付管
●	汚水側及取付管(無)
120	管 番 号
PPFφ150 i = 3.0 % L = 60.00 m	管径・勾配・延長
---	N T T 管
---	流域下水道管
---	ほ場整備計画
---	県市道路計画

管番号	151	
掘削深	1.63	1.63
掘削底高	25.697	25.647
土被り	1.397	1.437
管底高	25.800	25.750
計画地盤高	27.35	27.32
追加距離	0.00	16.60
単距離	34.00	12.80

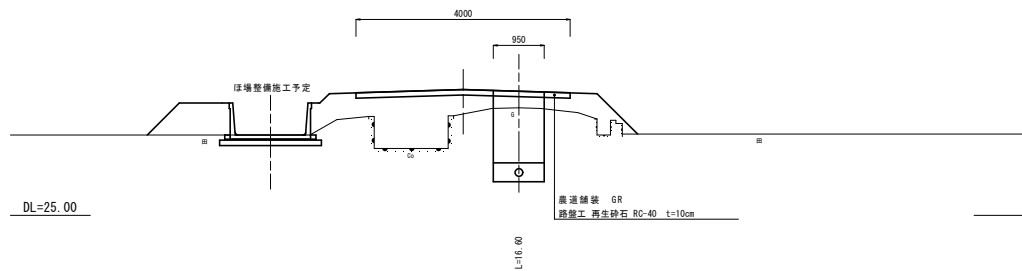
管 記 号 表			
151			

業 務 名		小矢部市特定環境保全公共下水道 実施設計その3実施	
図 面 名		平 面 図 ・ 縦 断 面 図	
縮 尺	A1 1:500, 1:100 A3 1:1000, 1:200	図面番号	B-2 / B-19
作成年月日		平成 31 年 2 月	
課 長	所 長	課 長	所 長
小 矢 部 市 上 下 水 道 課			

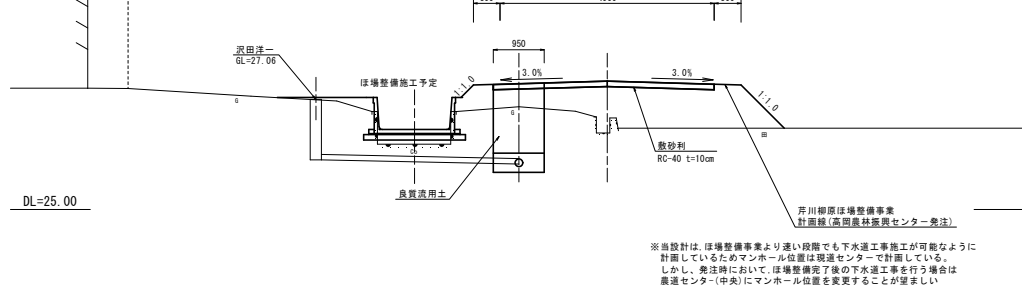
M151-2+34
GH=26.92
FH=25.630, 25.628



M151-2
GH=27.01
FH=25.750, 25.730

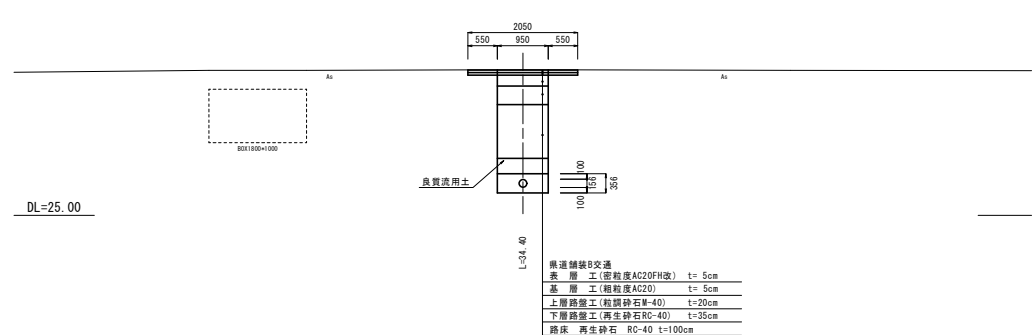


M151-1
GH=26.92
FH=25.800



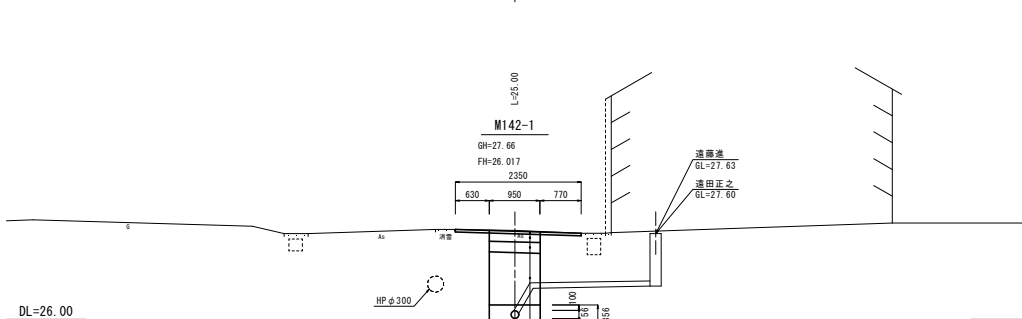
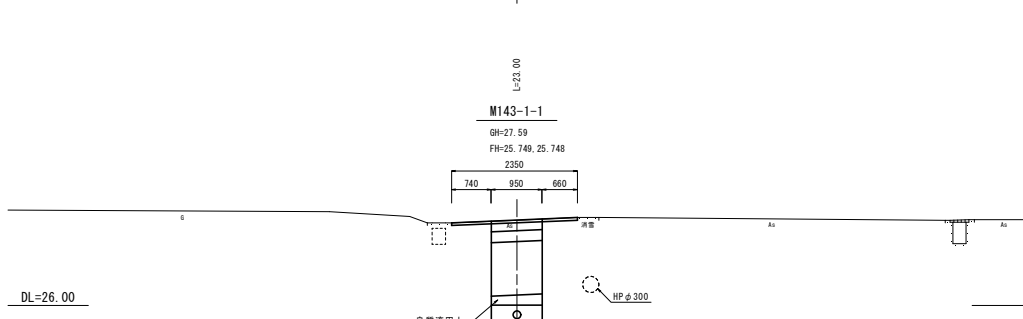
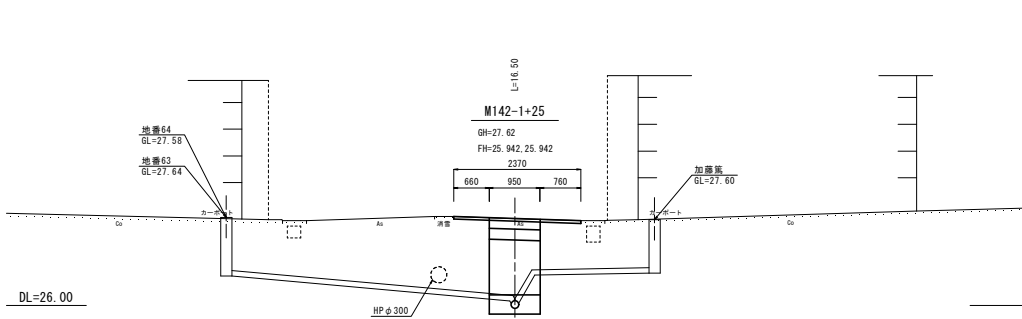
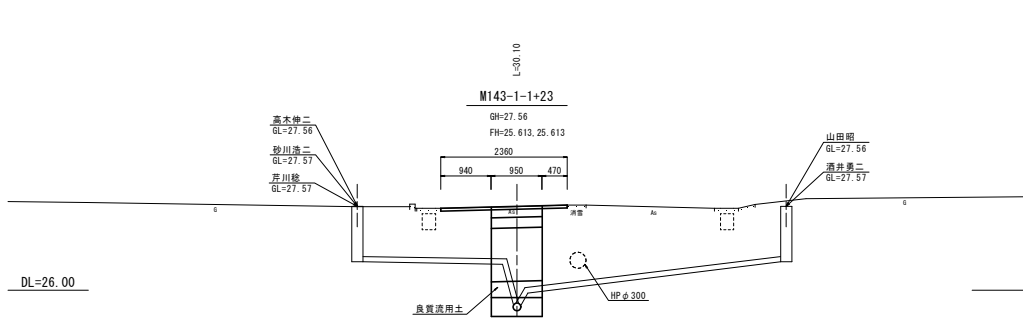
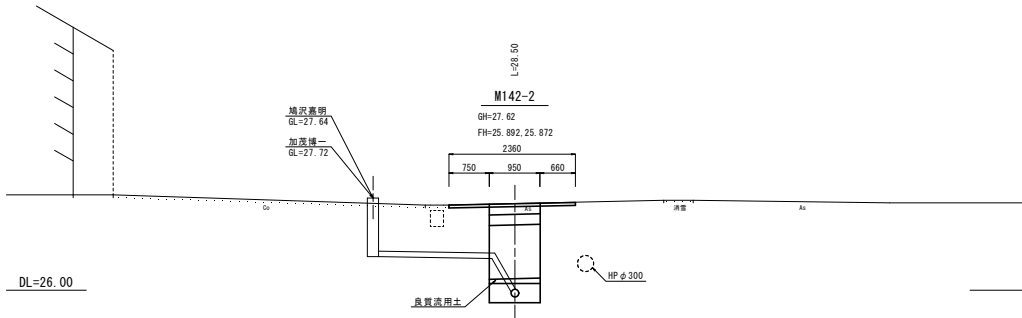
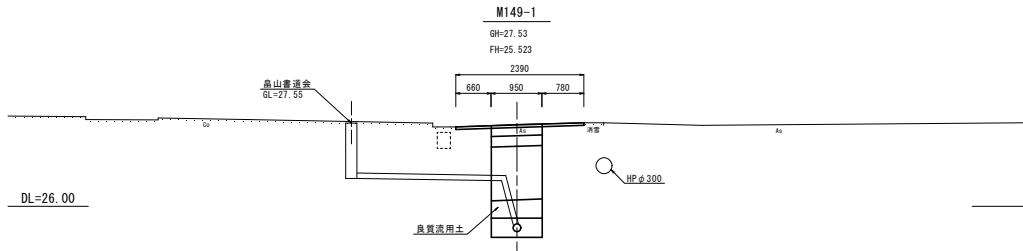
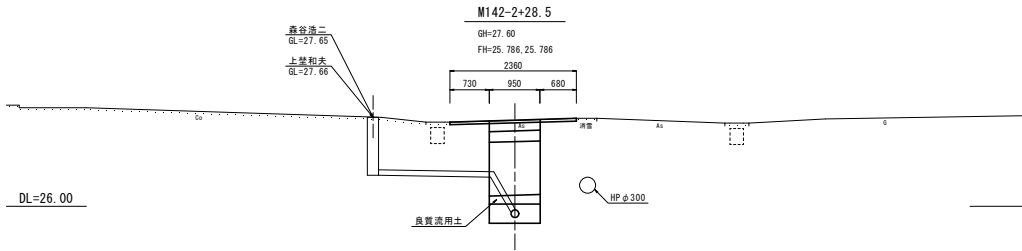
※当設計は、保通整備事業より速い段階でも下水道工事施工が可能となるように
計画しているためマンホール位置は現通センターで計画している。
しかし、免注時において、保通整備完了後の下水道工事を行う場合は
現通センター(中央)にマンホール位置を変更することが望ましい

M145-1
GH=27.72
FH=25.525



管 番 号 表				
151				

工 事 名		小矢部市特定環境保全公共下水道 実施設計その3東部			
図 面 名		横断面図			
縮 尺		1/50	図 面 番 号		0-16/ 0-26
作成年月日		平成31年2月			
課 長	係 長	図 表	設 計	製 図	
小 矢 部 市 上 下 水 道 課					



市道舗装T≤100 (IRL交通)
表層工 (密粒度AC20FA) t=5cm
上層路盤工 (粒径砕石M-40) t=15cm
下層路盤工 (再生砕石RC-40) t=20cm
路床 再生砕石 RC-40 t=100cm

管 番 号 表				
142	143-1			

工 事 名		小矢部市特定環境保全公共下水道 実施設計その8業務		
図 面 名		横断面図		
縮 尺		1/50	図 面 番 号	0-9 / 0-26
作成年月日		平成31年2月		
課 長	係 長	調 査	設 計	製 図

小矢部市上下水道課

下第14号
位置図

